

- センター試験速報
- 河合塾模試について
- 都立入試の期間を使って

何も咲かない寒い日は

英語科 吉川 彰規

皆さんは二十年後の自分の姿を想像できるだろうか？未来の理想の自分の姿を思い描くことができるだろうか？

自分について振り返ってみると、自分が高校生の時に描いていた二十年後の姿と、現在の自分の姿とはだいぶ違うように思う。正確に言うと、高校生の自分は、将来について具体的なことは何も考えていなかった。大学に行けばいいと考えていた高校時代、就職さえできればなんとかなるだろうと考えていた大学時代、将来の自分に目を向けるのではなく、目先のやりたいことだけをやっていった。

自分の経験からは、新宿高校の生徒に伝えられることはほとんどないように思う。失敗続きで回り道の人生。そこには、素晴らしい教訓や教えはない。ただ、今の自分を作っているのはこれまでの人生ということは間違いない。振り返れば、遊びであっても、まわりから見てくだらないことであっても、「自分に出来ることを全力でやる」ということはやってきた。そしてそのことが、未来の自分につながってきたということは言える。苦しいこともたくさんあったし、満足できないこともたくさんあった。うまくいかないことばかりで情けなくなることもあったし、不満を言うこともあったが、その場その場で自分にできることに目を向けるようにしてきた。高校時代に部活を頑張ったこと、大学時代に遊んでばかりいたこと、会社員時代に仕事を頑張ったこと、無職時代にのんびりしたこと、二回目の大学時代に勉強を頑張ったこと、その時の自分にできること、やりたいこと、やらなければいけないことを全力でやってきた。その積み重ねが今の自分の礎になっている。

実は、いまだに自分自身が教員に向いているのかどうか分からない。正直に言うと、自分自身が教員に向いているとは全く思えない。友人にも「教員っぽくないよね」とよく言われる。最初に勤務した学校の校長にも、「お前、教員に向いてると思ってんのかよ？」と言われるほどである。その時、「向いているかどうかはわからないが、やりたいとは思っている」と答えたことを今でも覚えている。その後、「なりたいていうことの中に才能がある」と書いている本に出会い、嬉しく思った。その意味は、「100人いたとして、100人全員がある一つの職業に就きたいと思うわけではない。その仕事に興味を持ったということは、それだけですでにその仕事への才能があるということなんだ。」という意味である。

新宿高校の皆さんは今何を頑張っているだろうか？将来の目標を持ったり、夢を語ったりすることも重要だろう。しかし、将来の自分を創りあげるのは、他の誰でもなく今の自分が何をするかでしかない。周りの環境や今の自分に不満を持っている人もいるかもしれないし、頑張っても良い結果が伴わないこともあるかもしれないが、今自分にできることを継続してやっていくしかない。

大学四年の卒業目前の冬、スノーボードのジャンプ台で失敗し、地面にたたきつけられた。背骨を折った自分は、またちゃんと歩けるようになるのかどうか不安になりながら、寝たきりのベッドの中でテレビをつけた。「何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ、やがて大きな花が咲く」という言葉に励まされたあるアスリートの特集番組が放映されていた。皆さんは下へと根をのばせているだろうか？根の様子は目には見えない。しかし、見えないところで、自分が全力で取り組んだ分だけ伸びているものだと思う。

□ センター試験速報

去る1月19、20日の両日に亘ってセンター試験が実施されました。本校の概況を報告します。
(国・英は200点、リスニングと基礎の付く科目50点、他は100点)
大学入試センターによる平均点の中間集計が23日に発表されました。今後、得点調整の有無

教科	科目	新宿	中間集計
国語	国語	153.8	117.78
数学	数Ⅰ・A	74.2	61.55
	数Ⅱ・B	68.5	56.32
英語	英語筆記	167.9	125.54
	リスニング	42.0	31.92
地歴	世史B	80.1	67.48
	日史B	81.4	65.46
	地理B	67.9	64.06
公民	倫理	67.5	61.36
	政経	76.4	57.67
	現代社会	69.0	58.20
	倫理・政経	70.3	64.52
理科	物理基礎	36.9	32.24
	化学基礎	42.3	32.75
	生物基礎	37.6	32.60
	地学基礎	44.8	31.28
	物理	73.5	57.56
	化学	68.2	55.87
	生物	73.3	64.23
	地学	48.0	47.53
文系 5・8	900満点	689.4	-
理系 5・7	900満点	676.3	-

が25日に発表されます。

また、河合塾と駿台・ベネッセからセンターリサーチの集計に基づく合格目標ラインが23日午後にはネット上で発表になります。さらに、25日には受験生個人に合否判定予想を記した個人票が返却されます。これらをもとに国公立大学2次試験の出願を行ってください。

2次の出願は1月28日から2月6日(必着)に行います。前期日程だけではなく後期日程(人によっては中期日程)の出願もこの時に行います。前期日程が不合格になってから後期日程に出願するものではありませんので、くれぐれも注意してください。出願関係のスケジュールをまとめておきます。参考にしてください。

1年生、2年生も今後のために流れを確認しておきましょう。

1/23 センター試験平均点中間発表

1/25 得点調整の有無、発表

1/25 センターリサーチ個人票返却

1/26・27 追試験実施 於:東京芸術大

1/28～2/6 国公立2次試験 出願

2/7 センター試験平均点最終発表

2/25 前期日程試験始(発表3/6～10)

3/12 後期日程試験始(発表3/20～24)

3/15 新宿高校卒業式

センターが終わり、3年生は特別講習の最中。私大一般入試、国公立2次の記述試験に向けて、気持ちを切り替えて取り組みましょう。

○ 1、2年生はリアルセンター

今年のセンター試験の問題を、1、2年生でも解いてみようという試験です。各予備校で、

無料で、あるいは有料で実施しています。2年生は全員が、1年生は希望者がいずれかの予備校のものを受験することになっています。

1年後、あるいは2年後にむけてモチベーションアップをはかるということに加え、試験の結果を分析し、弱点を自覚して対策を講じておくことが大切です。今年の学年でわからなかったことは今年の学年のうちに分かるようにしておきましょう。



○河合塾記述模試について

2月6日(水)は、校内実力テストで河合塾記述模試を実施します。この河合記述模試は難易度が高いと言われている模擬試験です。7月、11月に受けたベネッセ進研模試の偏差値よりも低めの偏差値になると思いますが、それはこの試験を受験する生徒の母集団が進研模試の母集団とは異なるからです。偏差値とはある集団の中での自分の立ち位置を示す数値ですから、その集団のレベルによって数値の意味は大きく違ってきます。

したがって、夏、秋の模試よりも偏差値が下がったとしてもあまり気にせず、間違えた箇所を冷静に分析して今後に活かすようにしましょう。逆に、この試験で良い成績がとれたら大いに自信を持っていいでしょう。

○都立入試の期間をつかって

1月と2月はそれぞれ下旬に都立高校の入学試験があり、試験の当日や直後の採点日、在校生は自宅学習になります。土日などもあって、かなり長い休みになりますが、この「休み」をどう過ごすか、少し考えてみてください。

「平日の休み」ですから、土日なら混雑する場所でも空いている、ということもあります。この機会を有効利用するのも悪くないし、美術館などで芸術鑑賞もできます。いろいろ試してみましょう。

ただ、2月の都立入試が終わるとすぐに学年末考査が控えていることも覚えておきましょう。

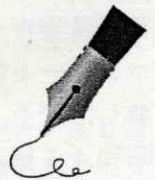
2年生は3年0学期が始まりました。2年生というよりも3年生の助走期間に入っています。センター試験まであと1年を切りました。

○新「共通テスト」に向けて

2021年1月から、これまでのセンター試験に代わって「共通テスト」が始まります。昨年秋には試行のプレテストが実施されました。

実際に、その試験を受けるのは現在の高校1年生ですが、各大学は2021年を先取りするかたちで入試の改変をすでに行いつつあります。今年のセンター試験でも新傾向の問題がありました。

今後は思考力や表現力をはか
る問題が増えてくるようです。
知識の詰め込みも大事なのです
が、そこに留まらずもう一歩先
を考える学習を心がけましょう。
また、日ごろから書くことを心がけ
ましょう。言葉を使って書く作
業を通し、思考は深まっていく
ものです。



【今後の予定】

- センターリサーチ返却 3年 1/25
- 国公立2次出願 1/28～2/6(前中後期)
- 都立推薦入試 1/26・27
- マラソン大会 2/1
- 保護者会 1年、2年 2/9(土)

＜なつてよかつた アナウンサー＞

19回生 太田公子

私がアナウンサーになつたきっかけは、体育の教師をめざして大学を受験したものの不合格。浪人しているうちに、家の経済状況が悪化し、働かざるをえなくなつたことから始まるのである。

浪人中の6月、おりしも合併直後の商社兼松江商に入社。

入社したものの、先々を考え、母校の佐藤喜一先生に相談。

先生のアドバイスとして、「アナウンサーになるといい。今や短大卒でも大丈夫なところもあると思う。共立女子短大が夜学でも昼間と同じ資格をくれるそうだし」

昼は宝町の兼松江商、夜は竹橋の共立へ、日曜日は恵比寿の東京アナウンスアカデミーにでかけ、アナウンス技術を磨いたものである。

幸いにして、発声は、中学校での部活・剣道のおかげの良く通る声、また、学校時代に経験した生徒会副会長（弦巻中・新宿高校2年）の選挙や学園祭のジャズコンサートの司会などで培った経験がいかされたと、自負している。

昭和44年、アナウンサー試験にチャレンジ、地方局を目指す。

愛媛県松山市の南海放送は、最後の面接まで残るが、不合格。

福島県郡山市に開局予定の福島中央テレビも最後まで残るが不合格

これはだめだ、と思つて諦めかけていたところ、福島中央テレビから、採用した方がキャンセルしたため、採用するとのこと。何と運の良い私であろうか。

昭和45年、共立女子短大の卒業を終えて、郡山へ引越す。

福島中央テレビ（FCT）では、女子アナは、新人2人、「一人三役」をモットーに、アナウンサーの業務だけでなく、フィルムの現像＜機械を動かす＞、録音テープの編集、報道記事の電話受け、など、限りなく働いた。

一年半もすると、横浜に新しい局ができると聞き、神奈川県議会議員の紹介を通じて受験し、みごと、合格。

昭和47年テレビ神奈川（TVK）に入社

TVKは、横浜の港近くに立地していたため、港に関する中継が多く、第3管区海上保安本部の観閲式の艦内放送を担当して、横浜港一周。クィーンエリザベス号寄港の際は、水先案内人のインタビューを山下公園から中継したりした。

昭和51年TVKを退社。フリーアナウンサーとなる。

FCT・TVK時代に知り合つた各局（それぞれフジテレビ・テレビ朝日・TBS）のプロデューサーを訪ね、レポーターなどの出演を依頼する。

出演番組

* テレビ朝日 “東京のこだま” アシスタント・東京都教育委員会提供

* TBS “3時にあいましょう” レポーター

* フジテレビ “小川宏ショー” レポーター

昭和52年 縁あって、今の主人（日経BP社勤務）と結婚

昭和57年 2人目の娘が障害を持って生まれ、仕事を控える。

娘が小学校にあがり、障害児教育に関する要望を教育委員会に提出するために、議員と接触するうち、お願いするより、自分で議員になつたほうがよい、と考え、川崎市議会議員に立候補する。

ところが、中々当選できず、4回目でやっと当選。議員としては、福祉関連の要求を主にして活動。しかし、その後落選

現在、 宮前区社会福祉協議会副会長

宮前区まちづくり協議会副委員長

*いづれにしても、アナウンサーとして技術をみがき、実践したおかげで、今の私があると思っています。学校時代のクラブ活動や生徒会活動は、その基礎となっています。

皆さんも、今を大事に精いっぱい頑張ってください。

（朝陽同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。）